

明大サークル物語



混声合唱団さわらびコール

明治大学混声合唱団さわらびコールです。

さまざまなジャンルの曲を歌っていますが、主には合唱曲を取り扱っています。

学生指揮者が練習を先導し、時に厳しく、時に楽しく練習を行っています。

今年もいくつかの演奏会に参加するほか、12月には定期演奏会を開催します。
演奏会ではお客様に感動してもらい、合唱の良さ、楽しさを伝えたいと思っています。

そして、自分たちも最高に楽しむことを目指しています。

こんなさわらびコールに、少しでも興味を持っていただければ幸いです。

さわらびコール概要

私たち、明治大学混声合唱団さわらびコールは、嬉しいことに新入生が20名以上入り、現在85名ほどの団員で活動しています。団員の半分以上が初心者で構成されており、楽譜の読めない人もいますが、そのような人たちのための「初心者講座」も開催しています。声の出し方は、プロのオペラ歌手の方から熱心なご指導をいただいているため、初心者でも簡単に合唱というものを学ぶことができます。時には、プロのピアニストの方をお呼びして、伴奏していただくこともあります。

それ以外にもOB・OGの方々がお忙しい中、さわらびコールの練習に顔を出し貴重な意見をくださります。さわらびコールは学生団体ですが、様々な人に支えてもらっています。また男女比は、男性のほうが少し多いですがほぼ同数で活動して

います。少し前までは主に文系の人が多かったのですが、今は理系の人も多く所属しています。

私たちの団は、駿河台キャンパス、和泉キャンパス、生田キャンパスにそれぞれ「BOX」という部室を所有し、この3キャンパスの教室で週3回の練習を行っています。3キャンパスから個性豊かなメンバーが集まり、一丸となって練習をしています。私たちが行う本番は主に、4月に行われる新入生のための新歓コンサート、7月に行われる東京都合唱祭、10月に明治大学で行われるホームカミングデー（HCD）、12月に行われる定期演奏会です。今年はこのほかにも、他大学との交歓会といった演奏会も開催します。

さわらびコール活動

練習中は、3年生1人、2年生1人の計2人が学生指揮者として練習を先導しています。そして、この2



練習風景、輪になって歌おう！



練習風景、合わせ練習

人の指揮者とさわらびコールの監督が、合唱したい曲を選曲して各々の演奏会で披露しています。

曲作りは団員全員で取り組んでいて、「もったいなくしたほうが曲に合っているのではないか」「ここはもっと大きく盛り上げたい」など、学年問わず意見を出し合ってより良いものを作ろうと頑張っています。練習はきっちり集中して行いますが、時には指揮者が冗談を言ったりして場を和ませます。さらに休憩中は、和気あいあいとした雰囲気がいっぱい、団員の仲の良さが伺えます。

また普段の練習以外にも年に2回、春休みに4泊5日、夏休みに5泊6日の練習合宿を行っています。合宿では様々な催しがありますが、ほぼ1日練習をするときは、集中して曲作りをします。疲労も大きいですが、その1日による成長はものすごく、団員としてのまとまりも大きく改善されます。さらにお時間がない中、OBやOGの方々が来てくださり、

練習の進め方や発声の仕方などを教えてくださるので本当に感謝しています。

合宿中、練習時間外には合宿レクも行います。夏合宿の合宿レクでは、晴れていれば河原で水浴びをしたり、みんなで野球をしたりします。さわらびコールには元運動部の人間も結構いるので、大変盛り上がりします。また夏合宿では、最終日にパーベキユーを例年行っています。夏場のパーベキユーは一段と盛り上がるので、今まで溶け込めなかった1年生がいとも夏合宿が終わるころには皆とても仲良くなります。合唱のスキルアップに加えチームワークを強化し、さらには曲作りも行いう合宿は、とても重要な行事です。

練習や合宿以外の行事としては、レクリエーション企画を年に4回程度行っています。学生ならではの低コストなレクリエーションはとても楽しく、団の絆がより一層深まります。昨年度は山手線の1日乗車券を

買ってグループごとに、出された課題をこなしていくというレクリエーションを行いました。普段行かないような駅や町にみんなで出かけるのは、とても刺激的な体験でした。

そのほかにも、コンサートやコンパを行い新入生を歓迎したり、六大学野球観戦に行つて校歌を歌ったり、卒業式で卒業生をお祝いしつつ別れを惜しんだり、さまざまな行事を行っています。行事以外でも普段から団員同士遊びに行つたり食事に行くなどして、絆や団結を強めています。

さわらびコールの歴史

私たちさわらびコールは、1955年に「民謡研究会」として発足し、世界各国のさまざまな民謡を歌うなどの活動を経て、1962年に「さわらびコール」と名前を変えました。名前が変わってから民謡をやっていたようですが、次第にい



レクリエーション、クリスマス会



ボウリング大会

混声合唱団さわらびコール

いわゆる「合唱曲」を歌う室内合唱団に変じて現在に至っています。その間、分裂騒動や団員の激減など存続の危機もありましたが、それらを乗り越えてさわらびコールは今年で52年目を迎えました。近年、合唱経験者も徐々に多く入ってくるようになり、初心者ともどもスキルアップをしています。

さわらびコールの 今後の活動

さわらびコールの今後の演奏会の予定としては、▽7月14日の東京都合唱祭▽9月の他大学との交歓会▽10月の明治大学主催のホームカミングデー（HCD）▽そして、さわらびコールの最終目標である12月8日の定期演奏会の4つの演奏会を行う予定です。

12月8日の定期演奏会では、以下のような曲を演奏する予定です。
●木島始作詞、信長 貴富作曲「初心のうちた」

●恋をテーマにしたオムニバス：無伴奏混声合唱のためのカウボーイポップより「ヒスイ」

●組曲地平線のかなたへより「春に」
●混声合唱組曲りこるどより「君だけの物語」

●混声合唱組曲 初恋物語 より「奪われし初恋」

●CHILCOTT, Bob 作曲「A Little Jazz Mass」

●フォーレ合唱曲集 混声合唱篇より「マドリガル」「パヴァーヌ」「魔神」

定期演奏会は、国立オリンピック記念青少年総合センター大ホールで行います。時間は現時点で未定ですが、お時間がありましたら入場無料ですので是非お越しください。

この定期演奏会を最終目標として、お客さんに最高の拍手をいただくため、合唱の良さを少しでも知ってもらうため、そして自分たちが最高に楽しむために練習を積んでいます。厳しくも楽しい練習を通して、さわらびコールは日々、成長します。



卒業式にて



合宿より—男だけの練習—